

## 令和4年度高齢者あんしんセンター設置法人事業予算について

## 1. 令和4年度高齢者あんしんセンターの予算について

## ア. 基本委託料等

- ・ 基本業務  
年額 緑風園 ; 23,960,000 円  
長生園・萱振苑 ; 20,944,000 円  
他 12 包括 ; 17,952,000 円
- ・ 啓発経費 年額 157,361 円
- ・ 地域包括支援センター運営システムサーバーリプレイス設置経費  
年額 241,560 円
- ・ 地域ケア会議推進事業費 年額 116,000 円

## イ. 実績加算分

- ・ 実態把握委託料 年間 759,500 円
- ・ 地域型介護予防教室事業委託料 年間 528,000 円
- ・ 家族介護教室事業委託料 年間 198,000 円
- ・ 河内音頭健康体操立ち上げ支援費 年間 60,500 円

## ウ. 介護予防支援費及び介護予防ケアマネジメント費

エ. 徘徊高齢者家族支援事業実態把握委託料 1 件あたり 3,410 円

## 2. 令和4年度高齢者あんしんセンターの事業経費予算の総計

総計は、3 億 7671 万 4585 円となっている。

## 3. 事業計画

## ①介護予防支援事業

- ・ ICT 技術等を活用し、介護予防の啓発やオンラインでの教室開催の取組
- ・ 訪問先、地域の活動等にて通信の配布等、介護予防の啓発の実施
- ・ 地域や民間事業者と課題を共有し、ICT 等を活用した介護予防の取組の実施・展開
- ・ 地域行事等での啓発活動を行い、介護予防の広報、普及活動
- ・ 「通いの場」の再開にあたり、見守り等、希薄となっている地域のつながりをカバーするために、地域住民、自治会、自主活動グループ等とつながり、地域住民同士のつながりを維持できる地域づくり
- ・ 介護保険サービスについて、居宅介護支援事業所、サービス事業所との連携を密に行い、自立支援に向けて検討していく

## ②総合相談支援業務

- 地域に出向き、関係機関から地域の高齢者及び周辺の状況を把握
- 地域の行事、活動の場でセンターの周知、啓発を行う
- 社会資源や機関の情報がより活用しやすいようにデータのマップ化を目指す
- 民生委員や地域の関係機関との顔の見える関係づくり
- 相談内容を分析し、相談窓口の内容の明確化を目指す

## ③権利擁護業務

- 成年後見制度等の活用促進に向け「権利擁護センター」との連携による相談支援体制の充実
- コロナ禍で地域の高齢者を狙った悪質な詐欺が増加しており、介護予防教室やチラシの作成等で注意喚起、啓発の実施
- 世帯全体で支援が必要な虐待ケースが増加しているため、障がいや児童分野の関係機関、保健所等とも連携しながら、早期解決に向けて対応していく
- 虐待の早期発見、解決のため、地域住民や関係機関の通報の意識を高めるとともに、相談しやすい機関となるようネットワークを強化する
- 認知症に関する教室、認知症サポーター養成講座、認知症カフェの開催等、認知症に関する啓発を地域で実施

## ④包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ケアマネジャーの支援における同行訪問や随時会議の積極的な開催
- 事例検討会等を通じたケアマネジャーとの顔の見える関係づくり
- ケアマネジャーが困難ケースを抱え込まない為に後方支援機関の周知と関係機関との連携体制の強化

## ⑤多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

- 複合的な課題解決が図れる様、医療、介護、福祉、地域組織等の関係機関の連携を通じたネットワークの強化
- 認知症地域支援推進員、認知症初期集中支援チームとの継続した情報共有と連携を通じた早期解決
- ICT 活用における新しいネットワーク構築の検討

## ⑥地域ケア会議の実施

- 自立支援型地域ケア会議の周知を行い、介護支援専門員が参加しやすい体制を整える
- 積極的に随時会議を開催し、多職種での課題解決に向けた検討の実施
- 随時会議や地域ケア会議を通して、多職種との連携を図り、地域ネットワークの構築、地域課題の把握、解決に努める